

平成22年度 宇都宮市立岡本北小学校学校評価書

「うつのみや学校マネジメントシステム」

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

【基本目標】

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童の育成を推進する。

【具体目標】

「健康で明るい子ども」「よく考えてはんだんできる子ども」「思いやりのある子ども」「ねばり強く進んでじっせんする子ども」

【子どものスローガン】

つよく やさしく かしい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれる教育活動を展開するとともに、「安全で安心できる学校」「明るく楽しい学校」「地域から信頼される学校」を目指す学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1) 21世紀に生きる心豊かな人間を目指し、その基盤となる資質や学力の向上に努める。
- (2) 教育者としての使命を自覚し、自己研修に努めるとともに、愛情と信頼、創意と工夫による生き生きとした教育活動の推進に努める。
- (3) 社会的規範の中で、基本的な生活習慣や健康で安全な生活を、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。
- (4) 「宮っこ未来ビジョン」の趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践しながら、心豊かでたくましく生きる児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- (5) 開かれた学校づくりを目指し、家庭や地域社会との連携・融合を図り、相互に補完し合いながら、地域に根ざした教育活動の推進に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学校運営）

○人権尊重を基にした安全で明るく楽しく地域から信頼される学校づくり

（児童生徒指導）

○自他を尊重し、生き生きと自己表現できる児童の育成

（健康・体力）

○自ら考え、生き生きと運動に取り組む児童の育成

（学習指導）

○基礎・基本を確実に身に付け、児童が意欲的に学ぶための支援の工夫と実践

5 自己評価

(Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標) (評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施)

(「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入)

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、活気があり、明るく活気がある」⇒保護者・地区住民の肯定的回答 80%以上	「つよく やさしく かしこい子」のスローガンの浸透を図り、活気のある学校づくりを進める。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 93.9%で、指標の 80%を上回った。 本年度は、「北小タイム(業間時)の集会」では各児童委員会による工夫ある活動が展開された。また、「児童会主催のあいさつ運動」が、年3回、設けられ活気ある活動が展開され成果がみられた。
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は大切なところをしっかりと教え熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 80%以上	学校生活を楽しく送れるように北小タイムや集会活動などを工夫しその活性化を図る。	A	【次年度の方針】 ・おおむね成果が見られたので、今後も継続する。楽しい集団活動を体験できる場を設定し、更にその充実を図る。
教育全体の状況			B	・児童の肯定的回答は 95.5%で、指標の 80%を上回った。 互いに授業を見せ合う取組を推進するとともに、業間や昼休みなど職員が児童と共に活動する機会が増えた。
		児童一人一人の話をよく聞き、声をかけ、よいところを認め伸ばす指導をする。	B	【次年度の方針】 ・今後も、担任と少人数指導教員や児童指導担当者、特別支援教育コーディネーター、かがやきルーム指導員等が連携し、児童一人一人の理解に努める。
教育全体の状況	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	「学習の約束」「生活の約束」を各教室に掲示する。約束の内容と意義を児童・保護者・職員が共有し、全職員・保護者が共通理解の下、指導に当たる。	B	【達成状況】 ・今年度の保護者の肯定的回答は 84.5%と、指標を上回った。 しかし、昨年度の肯定的回答より 0.6ポイントとわずかな低下が見られた。 【次年度の方針】 今年度同様、「学習の約束」「生活の約束」を児童に配布・教室に掲示するとともに、保護者へも内容を知らせ、理解と協力を得、全職員・保護者が共通理解の下、指導にあたる。

学校運営の状況	A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体のアンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人ていねいに教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 80%以上	学習の目標を明確にし、個に配慮した効果的な指導や支援体制をとりながら取り組む。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 95.2%で、指標の 80%を上回った。 学習内容定着度調査(3～6年の国語、算数)でも、殆どの観点・領域で市の平均を上回った。 【次年度の方針】 ・目あてや学習の手順を明らかにした授業を行い、基礎・基本を確実に身に付けさせることや、一人一人を大切にした授業づくり、児童が意欲を持って取り組める学習指導の工夫などを継続する。
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課・授業・行事などは適切に実施されている」⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	児童が主体的にしかも充実した学校生活を送れるよう学校行事や日課を適切に設定する。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 100%、保護者の肯定的回答が 92.6%で、指標の 80%を上回った。 昨年度と同様に夏季休業中に授業日を3日間設け、授業時数の確保に努め、余裕のある余剰時数を確保した。また、授業時数増については、児童の負担軽減を考慮して日課を工夫した。さらに、登校・朝の読書タイム・朝の会の時間帯に余裕をもたせるようにした。 【次年度の方針】 ・次年度も夏季休業中の3日間を授業日とし、時数確保のために学校行事等の効果的運用の工夫を図る。
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学年便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地区住民の肯定的回答 80%以上	学校・学年だよりや各種便りの定期的な発行と学校ホームページの定期的な発信に努めるとともに伝える内容の精選と見やすく分かりやすい表現について工夫する。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 91.0%で、地域住民の肯定的回答は 87.5%で、指標の 80%を上回った。 学校だよりを月一回、保護者・民生委員へ配布し、地域回覧することを通して、学校経営の方針や学校行事等の紹介に努めた。また、今年度は学校ホームページの更新を定期的にするなど分かりやすく発信してきた。 【次年度の方針】 ・「うつのみやオープンスクール」及び「地域住民との連携」について今後も継続する。 ・地域協議会と職員との情報交換の実施を年間行事に位置づけ、定着化を図る。

学校運営の状況	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	地域人材や専門家派遣人材を活用した授業を各学年1回以上は実施する。	A	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 90%で、指標の 80%を上回った。 各学年とも多くの学習ボランティアに参加していただいた。更に、出張授業・出前授業の充実を図った。 「教職員は、保護者・地域住民と連携協力した教育活動に積極的である」の保護者肯定的回答率が、昨年度の 73.4%から 74.5%と僅かに上回った。 【次年度の方針】 ・今後も継続していく。
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き学習しやすく潤いのある環境である。」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	清掃の手順を明確にしたり学級活動で指導したりし、環境の美化に自主的に取り組める児童の育成に努めるよう、廊下・校庭等の環境整備を計画的に実施する。		【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 70.8%で指標 80%を下回った。ただし、昨年よりは 3ポイント上回った。 ・常時の清掃や清掃強調週間・業者によるトイレ清掃などの清掃活動に力を入れてきた。また、修繕もその都度行ってきた。しかし、ごみを落とさない、落ちているごみは拾うなどの指導が十分ではなかった。更に、施設の古さも限界がある。
		清掃強化週間やPTA奉仕活動を通して児童への清掃への意識を高める。	B	【次年度の方針】 ・昨年同様、清掃の手順を明確にしたり学級活動で指導したりし環境の美化に自主的に取り組める児童の育成に努める。 ・清掃強調週間やPTA奉仕活動において児童への清掃への意識を高める。 ・引き続き、職員による作業等により、トイレ内の環境整備や清掃を実施する。
	A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組む、指導の工夫・改善に努めている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	日常化・継続化・協働化できる校内研修を実施し、児童の学びの意欲を喚起する授業の工夫に努める。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 69.9%で、指標の 80%を下回った。 月に1回以上の様々な研修を行ったり、互いに授業を見せ合って意見交換をしたりするなど、指導力向上に努めてきたが、全ての詳細を保護者に伝えることは難しいことなどもあり、十分な評価は得られなかった。
		学校公開日には通常の分かる授業を展開し、教員の指導力や授業力を正しく評価していただくようにする。	A	【次年度の方針】 ・教職員が計画に基づいてしっかり研修していること、授業を見せ合うことや授業研究会などで指導力向上に努めていることを、ホームページや学校だよりで伝えていく。

			【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 89.2%で、指標の 80%を上回った。 3年間、人権教育を学校課題として推進した、一人一人を大切にする学級づくりや授業づくりが、児童の自己肯定感を高めることに効果的だった。特別支援教育だよりや学年だより等での啓発にも取り組むことができた。 【次年度の方針】 ・人権尊重は教育の基盤であり、次年度以降も、話し合い活動や道徳教育の充実などを通して、力を入れていく。
教育活動の状況	生 活	A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童はあいさつをしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	児童の自己肯定感を高める教育活動を積極的に取り入れるとともに特別支援教育だよりや学年だより等で保護者への啓発等に取り組む。 B
		児童会によるあいさつ運動を実施し、児童・保護者・地域・教職員が協力して互いにあいさつをする習慣づくりを目指す。 A	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、65.2%と、昨年度に比べて7.2ポイントと大きく上がったが、指標は下回っている。 児童の肯定的回答が87.3%あり、保護者や教職員と児童との間にあいさつに対する感じ方の大きな差異があることが見て取れる。 【次年度の方針】 ・児童会による朝のあいさつ運動の他、あいさつコンテストなど、あいさつに自ら取り組めるような、機会を多く設定する。また、望ましいあいさつについて、具体的に提示し、継続的に指導するとともに、地域全体で互いに気持ちよくあいさつができるよう、あいさつ運動の展開を拡充する。
		B2 学校のきまりを守り協力して活動している。 【数値指標】 全体アンケートの「北小の児童は、決まりやルールを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	生活指導部を中心に生活目標の掲示や重点目標の設定等を行い、全教職員が共通理解のもとに指導する。達成状況をクラス毎にふり返り、よりよい生活ができるように努める。 B

健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分の子どもは朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	朝食に関する掲示や給食だよりをとおして、食育に対する意識を高める。	A	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は約 83.9%であり、指標の90%を下回り、H21年度よりも1.5%下がった。また、昨年に引き続き、給食の残食量は減少傾向にある。 【次年度の方針】 ・様々な場面で、食事の重要性について児童に指導していく。 ・引き続き、掲示物、給食便り、学年便り、学年懇談会等の機会を捉え、食の大切さ・偏食の矯正について保護者への啓発を図る。
		朝食をとらない児童に対しては個別指導を実施し、状況に応じた指導を充実する。	B	
	B3 自分の健康に関心を持ち心身の保持増進に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「食事のバランスや睡眠時間テレビやゲームの視聴時間など子どもの心身の望ましい生活習慣に心がけている」⇒保護者への肯定的回答 80%以上	学習や生活に悪影響を及ぼすう歯や近視等の疾病の予防や治療に取り組めるよう保護者へ呼びかける。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は87.7%で、指標の80%を上回っている。昨年度の割合よりも1.4ポイント下回った。 【次年度の方針】 ・昨年度同様、掲示物、保健便り、学年懇談会等で丁寧な資料による啓発を継続していく。 ・日常の様々な機会を捉え、健康に関する指導を繰り返していくようにする。
教育活動の状況	A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	教科の特性に応じた指導や「学習の約束」「話し方・聞き方」をもとに発達段階に応じた指導を全職員で継続して取り組む。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は82.8%で、指標の80%を上回った。 前年度に続き、「学習の約束」や「話し方・聞き方」の手引きを活用して取り組んできたことは、効果があった。 【次年度の方針】 ・「学習の約束」や「話し方・聞き方」の手引きを活用して指導を続け、児童が引き続き落ち着いて学習できるようにしていく。 ・児童にとってやりがいのある授業が実践できるように、努力を続ける。

	B4 基礎的・基本的な学力を確実に身に付ける。 【数値指標】 全体アンケートの「授業では、分かる楽しさやできた喜びが感じられる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	個に配慮した指導，習熟度別少人数指導，基礎・基本的内容の習熟の時間の教育課程への位置付けをしながら基礎基本の定着補充に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 93.2%で、指標の80%を上回った。 目あてや学習の手順を明らかにした授業や、基礎・基本の定着を重視した指導、個に配慮した指導などが効果的だった。 【次年度の方針】 ・基本的な学習態度の育成を柱とした学習環境の整備，特別支援体制，習熟度別少人数指導，家庭学習の習慣化などについて，継続的に力を入れていく。
本校の特色・課題等	B5 様々なふれあい活動を通し、心豊かな児童の育成に努める。 【数値指標】 全体アンケートの「外部の方との学習や縦割り班活動を協力して楽しく行えた。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	教科・特別活動等での高齢者・外部人材等のふれあい活動や異学年での縦割り班活動を積極的に行い、心で振り返る時間を設ける。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 93.5%で指標の80%を上回った。 ・生活科や総合的な学習の時間，家庭科，道徳や学級活動等での外部人材の活用，出前授業の実施等，各学年とも地域の力を活用できた。 ・異学年との交流を重視した児童活動を効果的に実施できた。 【次年度の方針】 ・心の教育を推進するため様々な体験活動や交流活動を充実する。 ・地域の方との学習が，自分にとってどんな意味や価値をもつものだったかの振り返りに深まりをもたせ，より豊かな体験活動としていく工夫をする。

〔総合的な評価〕

（学校運営）「人権尊重を基にした安全で明るく楽しく地域から信頼される学校づくりを目指す。」について

- ① 「学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」「教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。」「日課，授業，学校行事など教育課程は、適切に実施されている」などの評価指標は、今後もこの学校の取組を保護者や地域の方々にアピールすることで理解を得、信頼される学校づくりを目指す。また「学校と家庭・地域・企業等との連携・協力」については、特に今年度、ホームページの更新や学校便り等で情報の発信を充実しており、その効果により数値目標を達成できているものと思われる。更に、その活動の様子を保護者の方に見ていただく機会を増やしていきたい。

- ② 「校内は、学習にふさわしい環境になっている」については、清掃強調週間やPTA奉仕作業・業者による清掃作業等を通して、実際の清掃をきめ細かく行う。また、それらの活動を通して清掃の意識を高めるとともに児童の清掃指導を充実させ、その技能を高められるように努めていく。

（児童生徒指導）「自他を尊重し、生き生きと自己表現できる児童の育成」について

- ③ 「元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている」の評価指標については、あいさつ運動の展開が効果をあげ、保護者・教職員ともに昨年度を上回ったが、指標の達成には至っていない。児童・保護者・教職員が「望ましいあいさつ」の共有を図るとともに、互いが気持ちよくあいさつできる学校・地域づくりを目指して、「地域のあいさつ運動」へと広げていけるようあいさつ運動の拡大・充実を図っていく。

（健康・体力）「自ら考えいきいきと運動に取り組む児童の育成」について

- ④「休み時間や放課後などに積極的に運動をしている」の指導指標については、各種検定表の積極的活用、宇都宮市取り組みの「うつのみや元気っ子チャレンジ」、行事や休み時間の有効活用により十分成果が上がったので今後も継続して取り組みたい。

(学習指導) 基礎・基本を確実に身に付け、児童が意欲的に学ぶための支援の工夫と実践について

- ⑤「分かりやすい授業・きめ細かな指導」「落ち着いて学習」「分かる楽しさやできた喜び」の指標評価は、昨年度に続き、授業の目あての明示、基本的な学習態度の育成、特別支援体制の整備、人権教育の推進、習熟度別少人数指導、家庭学習の習慣化、共通理解に基づいた学習指導（各種手引きの活用）などにより、概ね達成することができた。今後も、さらに向上を目指していきたい。

「指導力向上、指導の工夫・改善」の保護者の肯定的評価は指標評価を下回った。計画に基づいた各種研修や、研究授業、互いの授業公開などを行い、ホームページや学校だよりでも紹介してきたが、保護者の十分な理解を得るまでには至らなかった。充実した研修や授業研究などによる指導力向上の努力を続けながら、広報にも努めていきたい。

6 学校関係者評価

- ・あいさつについて、アンケートの達成状況は目標に達していないが、効果が上がっている。外で出会うとよく声をかけてくれる。顔を覚えられていることもあるので老人会でふれあい活動をするのもよい。
- ・清掃については、地域ボランティア(老人会)との交流の一環として安全面ではなく子どもとのふれあい活動として清掃活動も取り入れたい。学校へ頻繁に足を運ぶと子どもたちや先生方の変化が分かる。清掃については限界があり、保護者の理解を得てボランティアを入れたらどうか。
- ・アンケート「先生方は、大切なところをしっかりと教え熱心に指導してくれる」では児童の肯定的回答が95.5%だが、残り、4.5%の子どもたちは、何を考えているのか知りたい。
- ・項目により、状況は低いですが、昨年度と比べて達成状況がよいのは取組の成果が上がっている。しかし、達成状況は目標に達しているが下回っている項目もあり原因を考えなければならない。
- ・項目によっては、毎日、様子を見ないと判断できない項目がある。項目について見直す必要がある。
- ・「教職員の指導力向上の取組や指導の工夫・改善」について、達成状況は低いですが、保護者に本当に分かっているのか疑問がある。理解されていないので情報発信を更に進めていく必要がある。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- 評価指数について、目標指数を大きく上回っても昨年度と比べやや下回っているものがあり、再検討する必要がある。アンケート結果から、地域住民や保護者の率直な回答を十分尊重して、次年度の学校運営や教育活動の改善に役立てていく。
- 学校からのHPの更新・学校だより等の情報発信を活性化し、児童の様子や教職員の取組などを地域住民や保護者に対し分かりやすく紹介してきたが、市全体に比べ下回っているため今後更に充実していきたい。
- 地域住民や保護者との連携を有効に進め、「あいさつ運動」「気持ちよい言葉遣い」「清掃活動」等の推進については、地域協議会においても情報交換を行い、有効な手段を工夫していく。